

# 宮竹少剣

昭和50年10月10日

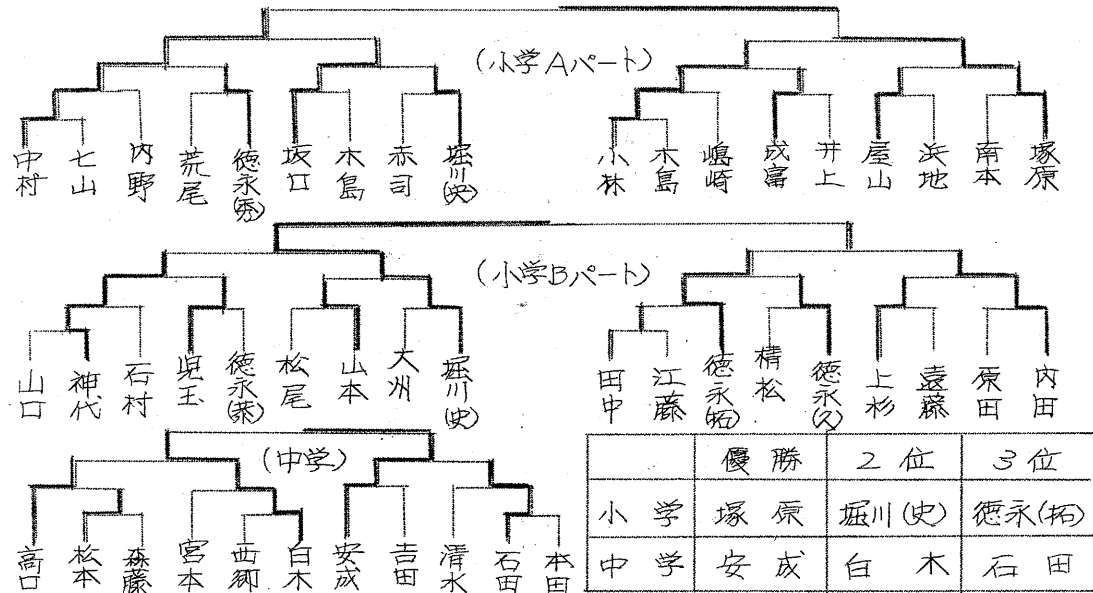
才10号

宮竹少年剣道クラブ育成会

## ★才5回合瀬杯争奪剣道大会 塚原(小学)安成(中学)優勝

恒例の才5回合瀬杯争奪剣道大会は去る9月14日多数の来賓、父兄出席のもとに盛大に実施されました。参加選手 小学生の部36名、中学生の部11名により白熱した好試合が展開され、小学の部優勝者に授与される合瀬杯赤胴は塚原君の手にしっかりとぎられました。

当日の組合せ及び成績は下記の通りです。



## ★才3回南区剣道大会に大挙参加

才3回南区剣道大会は9月28日香蘭女子短大で93チーム約430名の参加のもとに盛大に行なわれました。宮竹少剣からは8チーム選手40名の他父兄、応援のクラブ員が参加しました。各チーム共大いに頑張り中学Aチームは準優勝の栄誉に輝きました。

各チームの編成及び成績は下記の通りです。

- 小学A 堀川(史)、塚原、内田、徳永(拓) 堀川(史) 弥永少剣に勝つも玉竜Aに敗
- “ B 徳永(香) 石村、大川、徳永(久) 小林 玉竜Cに敗
- “ C 木島(賢) 上杉、成富、坂口、屋山 日佐Dに勝つも玉竜Dに敗
- “ D 赤司、椿松、遠藤、中村、浜地 弥永少剣に勝つも誠心に敗
- “ E 山本、荒尾、山本、田中、山口 若久少剣に敗

6. 中学A 安成、吉田、宮本、石田、高口 玉川 日佐D、筑紫A、老司に勝ち準優勝
7. “ B 白木、室木、松本、西郷、清水 西高宮Bに勝つも玉竜Aに敗
8. 女子 江藤、木島(ユヅ) 平野、内野、内田

## ★『少年剣道について』 宮竹少年剣道クラブ師範 剣道七段教士 合瀬 藤雄

宮竹少年剣道クラブも100名有余の会員を擁するクラブとなり名実ともに発展の一途をたどっている事は誠に喜ばしい限りです。私は少年の頃より剣道をこよなく愛し、剣道を通じて子供達の健全育成に微力ながら努力しているものです。よく剣道は「気」「剣」「体」の一致が基本であるといわれますが「気」は気力、精神力「剣」は行動力、「体」は体力に通じるものであります。日頃の剣道修練はこれらの「心」を子供達に伝える為のものであり、決して試合に勝つ為のものではありません。少年剣道の修練は、従って立派な人間型をめぐす事を目的としており、この目的の為に日頃の厳しい稽古があり、日頃の厳しい規律があります。試合に勝つという事は稽古の結果であり、目的ではない事はいつまでもありません。

又学業と剣道の両立について良く話題になりますが、剣道は一般スポーツに比較して、より精神面が強く要求されるものであり、この意味に於いては、両立するものであり、又両立させなければ、いけないと考えます。但し現実問題として剣道練習日と宿題、テストなど重なる場合がありますが、なんとか時間的に両立させる様工夫して、なにかつ、出来ない場合は、学業を優先させるのは、いつまでもなく、右日の稽古に2倍、3倍の密度で励む事です。才5回合瀬杯を終了して日頃やっている事の一端を述べさせて頂きましたが読面の都合もあり、意をつくせませんが、すくすくと成長する子供達に会うのを楽しみに、又子供達が立派な社会人に成長するのを楽しみに日頃の剣道修練に励んでいます。

## ★あとかき

- 9月3日 4~8級の昇級審査が行なわれました。はちまき組より5級に合格して防具着用を認められたクラブ員は14名です。今後の健闘を期待します。
- 10月1日 藤集新入部員を紹介します。池田均(5年) 加島孝一(3) 青柳徹(3) 原田憲司(3) 田代道也(3) 宮崎弘和(5) 宮崎義秀(4) 宮崎義勝(4) 以上8名です。先輩クラブ員は仲良くしてあげて下さい。又新入者は途中でやめない様頑張ってください。
- 才5回合瀬杯が無事終了しました。才2回より合瀬先生の寄贈により赤胴が小学生優勝者に授与されています。子供達の大きな励みとなっています。
- 今回は特に合瀬先生にお願いして少年剣道についての一文を掲載しました。読面の関係から出来るだけ簡単にさせて頂きましたが、日頃の修練の事、学業とのかねあいなど、今後、皆で、考え勉強していきたいと思ひます。